

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 豚熱等埋却地管理事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内 2886)

E-mail: c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,944 千円 (前年度予算額：18,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,100	9,005	0	0	0	0	0	0	9,095
要求額	7,944	3,952	0	0	0	0	0	0	3,992
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成30年9月に岐阜市の養豚農場において豚熱が発生して以降、令和元年9月までに計24施設で続発し、すべての施設において、殺処分及び養豚農場近隣地等での埋却作業及び消毒作業などを実施して防疫措置を行っている。令和3年1月には、美濃加茂市において高病原性鳥インフルエンザが発生し、同様に防疫措置を行っている。

埋却後は家畜伝染予防法に基づき3年間埋却地は発掘禁止となるため、県では埋却地からの汚染防止の観点から、埋却地の補修などの管理を適正に行っていく必要がある。よって県が埋却地を定期的に巡回し、埋却地に異常(地表面の沈下等)があった場合は補修を実施している。

(2) 事業内容

埋却地の補修

- ・埋却地沈下に対する土砂埋戻作業

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2 (工事請負費)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	7,905	土砂埋戻作業
事務費	39	
合計	7,944	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

家畜伝染病予防法第24条において、「家畜の死体又は家畜伝染病の病原体により汚染し、若しくは汚染した恐れがある物品を埋却した土地は、農林水産省令で定める期間内は掘ってはならない」とされている。

家畜伝染病予防法施行規則第32条において、「発掘の禁止期間は3年とする」とされている。

(2) 後年度の財政負担

発生から3年間埋却地管理が必要となる。

平成30年から令和元年の豚熱、令和3年1月の高病原性鳥インフルエンザ発生にかかる埋却地管理は令和5年度まで行う。

事業評価調査書

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 家畜伝染病予防法に基づく3年間の発掘禁止期間中、埋却地を適正な状態に維持する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

埋却地を適正な状態に維持することが目的であるため、目標の設定には適さない。

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 定期的に埋却地の点検を行い、適正な維持がなされている。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	家畜伝染病予防法に基づき発掘禁止となる3年間は、埋却地を適正な状態に維持する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	埋却地を適正な状態に維持できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	現地の状況を把握し、必要に応じた補修を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 経年による埋却地の形状変化、風雨による土砂の流出等に対して、継続した補修が必要になる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 家畜伝染病予防法に基づく3年間の発掘禁止期間が終了するまで、埋却地を適正な状態に維持する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------